

外国人患者を受け入れる医療機関 について

(1)各都道府県に求められる取組(総論)

- 我が国全体で観光立国が推進される中で、各都道府県においても外国人観光客の増加による地域の活性化に向けてそれぞれ取り組みが進められているが、一方で訪日外国人が安心・安全に医療を受け、帰国できる体制の整備についても併せて取り組むことが求められている。
- このためには、各都道府県の衛生部局が観光部局等と連携し、また、管内の市町村や医師会・関係団体とも連携して、2019年のラグビーワールドカップの開催や2020年のオリンピック・パラリンピックの開催も念頭に体制づくりを進めることが必要。
- 政府としても取り組みを推進するために、6月14日に「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」が開催されたところであり、厚生労働省としても自治体・関係団体と協力して、訪日外国人・在留外国人が安心・安全に医療機関を受診できる体制づくりに向けて取り組みを推進することとしている。
- このような状況を踏まえ、都道府県が、それぞれの地域の実情に応じた具体的取り組みを進めることが求められる。検討課題としては、例えば次のようなものが考えられる。
 - ① それぞれの地域における実態・課題等の把握
 - ② 外国人の受入が可能な医療機関の選定
 - ③ 外国人を受け入れる医療機関の受入体制の整備
 - ④ 外国人を受け入れる医療機関向けの医療通訳や翻訳機器等の活用体制の整備
 - ⑤ 外国人を受け入れる医療機関における円滑な支払の確保に向けた体制の整備
 - ⑥ 外国人を受け入れる医療機関に関する関係者間での情報共有
 - ⑦ 地域の医療機関・行政の担当窓口の体制整備
 - ⑧ 地域の行政・医療機関・消防・旅行・宿泊等の関係者による連携体制の構築 など
- 厚生労働省は、2018年6月の都道府県衛生部長会において、都道府県に対して、以下の取組を依頼すると予告したところ「地域における外国人患者の受入拠点となる医療機関」を選定すること
 - 都道府県毎に、「重症例を受け入れ可能な医療機関」を1カ所以上選定
 - 外国人観光客が多い二次医療圏では、「軽症例の受け入れ可能な医療機関」を選定

本県の「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」の選出方針等

○選出方針

- ・ 重症例を受け入れる医療機関を県で1施設以上、軽症例を受け入れる医療機関を二次医療圏ごとに1施設以上選出することとし、県調査等で受入意向がある医療機関を候補とする。
- ・ 候補の医療機関について、①通訳体制、②情報提供体制、③マニュアル整備 等の受入体制を把握し、議論のうえ選出する。
- ・ 今後の訪日外国人患者数の動向等をみながら、引き続き追加選出等について検討

○これまでの選定状況

- ・ 令和元年9月24日開催の医療審議会において選定
重症例受入医療機関) 2 医療機関：福井大学医学部附属病院、福井県立病院
軽症例受入医療機関) 9 医療機関
【内訳】福井・坂井圏域) 5 医療機関：福井大学医学部附属病院、福井県立病院、福井赤十字病院
福井県済生会病院、福井中央クリニック
奥越圏域) 1 医療機関：福井勝山総合病院
丹南圏域) 2 医療機関：公立丹南病院、中村病院
嶺南圏域) 1 医療機関：市立敦賀病院

外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の候補および受入体制

○協議事項

新たに「林病院（丹南圏域）」を軽症例受入医療機関に選出することについて

- ・所在地：越前市府中1丁目5-7 ・開設者：医療法人林病院 ・管理者：千葉 幸夫
- ・病床数：一般病床206床（急性期86床、回復期120床）
- ・診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

軽症例

◎は対応済み、○は未対応だが今後対応予定、×は未対応かつ対応予定なし

圏域	医療機関名	①通訳体制	②情報提供体制	③マニュアル整備
丹南	林病院	◎	○	○

- ①通訳体制… 医療通訳の配置、電話通訳の利用、通訳に資するタブレット端末等の配備のいずれかに対応
- ②情報提供体制… 病院ホームページの多言語化、院内表示の多言語化のいずれかに対応
- ③マニュアル整備… 外国人患者に対する対応手順の取決めに対応（国が作成したマニュアルの周知等含む。）

外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の候補および受入体制

◎は対応済み、○は未対応だが今後対応予定、×は未対応かつ対応予定なし

重症例					
圏域	医療機関名	①通訳体制	②情報提供体制	③マニュアル整備	④院内文書の多言語化
全県	福井大学医学部附属病院	◎	◎	○	○
	福井県立病院	◎	◎	○	◎

軽症例					
圏域	医療機関名	①通訳体制	②情報提供体制	③マニュアル整備	
福井・坂井	福井大学医学部附属病院	◎	◎	○	
	福井県立病院	◎	○ R2年度中	○	
	福井赤十字病院	○ R3.1月予定	◎	○ R3.1月予定	
	福井県済生会病院	◎	◎	◎	
	福井中央クリニック	◎	会計部門で直接対応	○ R2年度中	
奥越	福井勝山総合病院	◎	会計部門で表示対応	○ R3.4月中	
丹南	公立丹南病院	◎	○HP一部対応	○ R2年度中	
	中村病院	◎	○	○ R2年度中	
嶺南	市立敦賀病院	◎	○	○	

- ①通訳体制… 医療通訳の配置、電話通訳の利用、通訳に資するタブレット端末等の配備のいずれかに対応
- ②情報提供体制… 病院ホームページの多言語化、院内表示の多言語化のいずれかに対応
- ③マニュアル整備… 外国人患者に対する対応手順の取決めに対応（国が作成したマニュアルの周知等含む。）
- ④院内文書の多言語化… 手術の同意書等、本人同意を求める文書の多言語化に対応